



## みかんぐみだより

2021年度 9月号

尚徳福祉会 おぐら保育園

厳しい暑さが少しずつ落ち着いて、秋の空になってきました。セミの声から、トンボが飛ぶ園庭に変わり、活動しやすい季節を楽しみながら外遊びや散歩で秋を感じたいと思っております。夏の疲れに気をつけ、体調の変化や水分補給は引き続き、細目に行って元気に過ごせるように心掛けていきます。

### ☆水あそび☆

みんな大好きな水あそび。

裸足になって、タライの水をジョウロやバケツに好きな玩具を持ってタライから水をすくって入れることや出すことを楽しんでいました。ホースから出てくる水にも興味津々でバケツを差し出して『水入れて』とアピールしてたくさん水が入って重くなってもしっかりと大切に持っている姿は微笑ましかったです。テラスにできた水たまりでピチャピチャと水がはねるのを楽しみ、水の流れにそって進んで歩き嬉しそうでした。赤、黄、青の色水をそれぞれビニール袋に入れた物をタライに入れて、遊ぶうちにビニールが破けて、タライの水の色が変わった時は、驚きの表情で水をかき回して喜んでいました。

### ☆セミ・ミーン☆

園庭の木にとまっていたセミを捕まえてみせると近寄ってきてじっくりと見つめる子、少し離れた所から【チラッチラッ】とみている子。保育者からセミの羽の所を『持ってみる?』と言われて怖がることもなくセミを掴んでしばらくして離して飛び立つ様子に驚く姿もありました。鳴くセミと鳴かないセミの違いの話も聞いていました。



### ☆畑の野菜・花☆

涼しい日は園庭であそびました。

畑の野菜やひまわりを観察して『ピーマンたくさんあるね』『大きいね』『赤いの落ちているね』と言って座り込んで高月齢児がお話しをしていると低月齢児も『ピーマン』とはっきり大きな声で繰り返して言っている姿もありました。オクラが空に向かってピンと立っているのを『オクラだよ』と説明すると『ふ〜ん』と言った表情でまだ給食の食材とは繋がっていない所もありますが、少しずつ食材にも興味を持つ子もできてきたので、野菜大好きになって欲しいと思っています。

ひまわりの種ができ、茎が大きく傾いた時や、ひまわりが無くなった時には、「ひまわりないね〜」と教えに来てくれる子もいました。

### ☆粘土☆

粘土の塊を親指と人差し指でつまんで、ちぎってお皿に入れて、たくさんできると嬉しそうにほほ笑む低月齢児。机の上で手のひらを使って伸ばして細くなった物を持ち上げて、「へび〜」と満足そうな表情で、何回も行う姿が見られました。

お団子を作って、つぶして、平らにした物をいくつも重ねて、ホットケーキを作り、飾りつけを丁寧に行っていました。

取り組む姿も真剣な子、夢中になっている子、お友だちと話しながら楽しそうに作っている子。

終了した子から、手を洗うように伝え、ハンドソープをしっかりと伸ばして上手な手洗いができるようになってきました。